

2050年の大阪の将来像に関するご意見

株式会社ミライロ 垣内 俊哉 様

- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の考え方から、2050年の大阪の将来像の検討に向け、3つのキーワード【健康、持続可能、国際都市】を設定しました（別添有識者WG資料3，4ページ目を参照してください。）。それぞれの観点を参考に、委員の皆様が現時点で考える2050年の大阪のあるべき将来像があれば、自由に記載してください。
- なお、キーワード以外の事項についても、幅広く記載いただいても結構です。

<ユニバーサルデザインの視点より>

誰もが住みやすい・働きやすい・訪れやすい大阪

- ・法や条例だけではカバーできないユニバーサルデザインに関する指針と、企業の取り組みを後押しする制度を策定する。
- ・交通機関のバリアフリー化など、点としての取り組みではなく、飲食店や宿泊施設なども含めた、線、面としての取り組みへ昇華させる。

テクノロジー×ユニバーサルデザイン

- ・テクノロジーの進化を活かし、パーソナライズされた自由な就労と消費を実現する。
- ・多様な方々が安全、安心、快適に、自ら望む生き方ができる都市へ。

（ 将来像の実現に向けて、克服すべき課題や取組みの方向性がありましたら、記載してください。 ）

<ユニバーサルデザインの観点より>

社会に存在するバリア

- ・「環境・意識・情報」3つのバリアを解消することが求められる。

社会貢献と経済活動の両立へ

- ・社会性と経済性を伴った活動にすることで、継続的なアプローチが可能になる。
- ・高齢化先進国の日本ではユニバーサルデザインはひとつのビジネスへ。

-----ご記載いただく上での留意点-----

- 参考資料として添付している「大阪のめざすべき将来像を考えるうえでの視点」や「大阪の現状」、「人口推計」等をご参照のうえ、自由にご意見を記載してください。
- WG 当日に、各委員の説明時間（5～10分）を設けますので、資料の補足事項は、その際にご説明いただけます。
- 今後の取組みの方向性は、行政に限らず、民間などの取組みも含めて幅広く記載いただいても結構です。なお、本ビジョンが、2025年を目標年次としていることから、2025年に向けた取組みの方向性を記載してください。
- 行数が不足する場合は、適宜、新たな行を追加してください。
- ご提出いただいた本様式は、資料として配布するとともに、WG 終了後、HP 上で公表いたします。
- 本様式以外に、第1回WGで提出を予定されている資料があれば、併せてお送りください。